

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月04日

計画の名称	風格と魅力ある都市を創造する彦根における子ども達の安全と安心のための通学路等の点検結果に基づくみちづくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	彦根市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨今、子どもが巻き込まれる事故が多く発生しており、安全対策は急務である。このことから、危険箇所の改善を図り、安全で安心な子どもの移動経路を確保する。</li> <li>・ 子どもの移動経路の現状を把握するため、点検を関係機関と連携して年次的に実施し、その結果に基づき、危険箇所の改善を図り、安全で安心な子どもの移動経路を確保する。</li> <li>・ 彦根市内の道路は、旧城下町の特性から狭隘で連続性のない道路が多く、交通の円滑化の面だけでなく、災害時の救助活動や円滑な避難行動の支障となることが見られる。このため、効果的な道路整備を行い、災害や事故に備えた安心安全のみちづくりを推進する。</li> <li>・ 道路改築や駅周辺地区の公共空間の整備に伴う、歩道の設置やバリアフリー化の推進により、良好な歩行空間を確保する。</li> <li>・ 日常生活や観光拠点となる鉄道駅周辺市街地の整備を推進することにより利便性を高め、市街地の活性化を図るとともに、現状の定住人口の微増を維持する。</li> </ul>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,725	A	1,725	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	市内における、1年間の子供達が関係する歩行者・自転車事故件数を 25件/年(H28)から 18件/年(R4)に 30%減少 市内における1年間の子供達が関係する歩行者・自転車事故件数(減少数) 25件/年(H28) * -30%=18件/年(R4)	25件	22件	18件
2	通学路の点検結果により抽出された危険箇所の対策を100%実施 通学路の点検結果により抽出された危険箇所の対策(達成率) 想定箇所数( ~ R3点検、R4実施まで)197箇所	0%	82%	100%
3	市内における、緊急車両(消防車・救急車)の通報から到着までの時間を 504秒/市内平均(H28)から 479秒/市内平均(R4)に 5%短縮 市内における、緊急車両(消防車・救急車)の通報から到着までの時間(短縮時間) 504秒/市平均(H28) * -5%=479秒/市平均(R4)	504秒	492秒	479秒
4	駅周辺市街地(JR彦根駅を中心に概ね半径500mの範囲)の定住人口を 5,849人(H28)から 5,907人(R4)に 1%増加 駅周辺市街地(JR彦根駅を中心に、概ね半径500mの範囲)の定住人口(増加数) 5,849人/年(H28) * 1%=5,907人/年(R4)	5849人	5878人	5907人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	彦根市	直接	彦根市	S街路	改築	(都)立花船町線	現道拡幅、無電柱化 L=0.46km	彦根市						636	-	
	A01-002	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	(1)彦根口川瀬馬場線・岡町工区	交差点改良 L=0.18km	彦根市						0	-	
	A01-003	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	改築	(1)芹橋彦富線・彦富工区	バイパス L=0.84km	彦根市						88	-	
	A01-004	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	改築	(1)稲部本庄線	バイパス L=0.23km	彦根市						56	-	
	A01-005	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	(1)彦根駅平田線	歩道段差改善 L=0.45km	彦根市						145	-	
	A01-006	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	(1)錦船町線	歩道段差改善 L=0.85km	彦根市						8	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	改築	(1)大藪磯線	バイパス L=0.58km	彦根市						175	-	
	A01-008	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	彦根市通学路城東小学校 ほか16校区	通学路カラー舗装等	彦根市						112	-	
	A01-009	街路	一般	彦根市	直接	彦根市	S街路	改築	(都)松原町大黒前鴨ノ巣 線	現道拡幅、通学路 L=1.20km	彦根市						443	-	
	A01-010	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	(1)小泉庄堺線	歩道段差改善 L=0.41km	彦根市						6	-	
	A01-011	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	(1)石寺稲里線	ラウンドアバウト L=0.32km	彦根市						52	-	
	A01-012	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	(他)河原16号線・芹町4号 線	無電柱化 L=0.7km	彦根市						0	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	道路	一般	彦根市	直接	彦根市	市町村道	交安	彦根市未就学児集団移動経路	路面標示の設置等	彦根市						4		-
											小計						1,725		
											合計						1,725		

事後評価

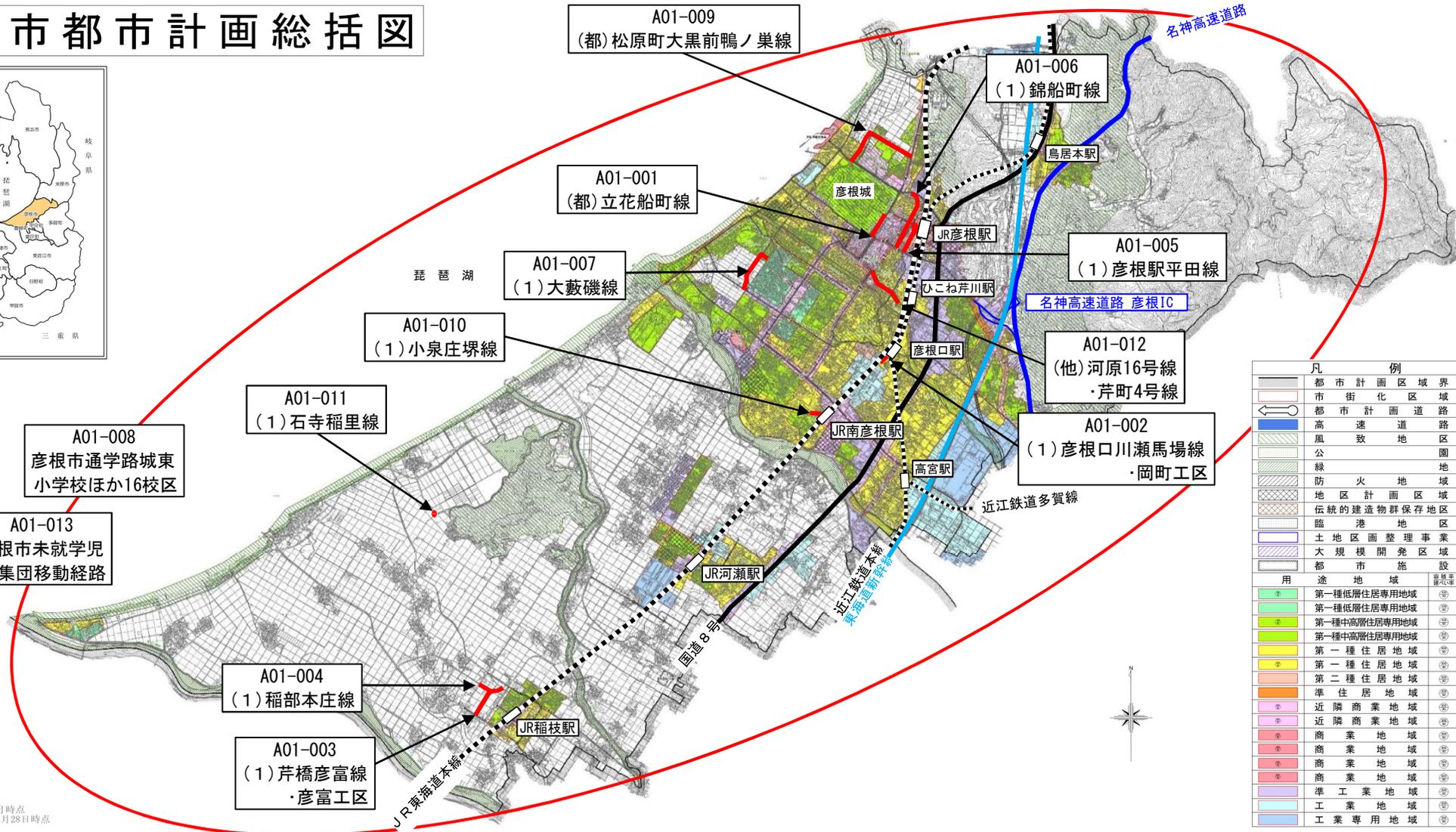
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
彦根市建設部道路河川課 【意見聴取】子どもの移動経路交通安全対策連絡会（通学路交通安全対策ワーキンググループ）	令和6年7月
	公表の方法 彦根市ホームページ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	子どもの移動経路の安全対策として、グリーンベルトや車両運転手への注意を促す路面標示の設置による子どもの移動経路の強調、明確化、歩行道境界ブロック、路側防護柵およびガードレールの設置による歩車道の分離、用地取得や側溝暗渠化等の現道拡幅による歩行空間の確保、バイパス整備による子どもの移動経路の変更、ならびに、道路のバリアフリー化による段差、勾配の改善等を行い、子どもの移動経路の安全確保および快適な歩行空間の創出を図ることが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	—
特記事項（今後の方針等）	
今後においても、「彦根市子どもの移動経路交通安全プログラム」に基づき、年次のかつ組織的に子どもの移動経路の点検を行い、抽出された危険箇所について、迅速かつ適確にハード、ソフト両面の安全対策を実施していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	18件	当初現況値に比して10件、40%事故件数が減少し、目標を達成することが出来た。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う新しい生活様式の実践によって 外出機会が減少したことも、事故件数減少の一因として推察される。
	最終実績値	15件	
2	最終目標値	100%	最終目標値に比して36箇所、18%対策箇所が減少し、目標を達成することが出来なかった。しかし、所定の事業費を確保し、年次的に対策を実施しており、通学路点検結果により抽出された危険箇所が減少傾向であること、労務費および材料費の高騰ならびに対策内容に基づく一箇所当たりに要した事業費の増加が要因である。
	最終実績値	82%	
3	最終目標値	479秒	当初現況値に比して60秒、12%到着時間が延長し、目標を達成することが出来なかった。本計画に位置付けた現道拡幅、交差点改良、バイパス整備および無電柱化といった車両交通の円滑化に資する8路線（事業）のうち7路線が、計画期間内に供用開始することが出来なかったことが要因である。なお、本評価時において、未供用7路線のうち、3路線が令和6年度に、1路線が令和7年度に本格供用する見込であり、1路線が令和7年度に部分供用する見込である。また、緊急車両について、救急需要の高まりから、軽傷（病）の通報件数が増加し、最寄りの緊急車両待機場所からの出勤が困難な状況であり、全国的に到着時間が延長傾向にあることも一因である。
	最終実績値	564秒	
4	最終目標値	5907人	当初現況値に比して195人、3%定住人口が増加し、目標を達成することが出来た。子どもの移動経路の安全対策はもとより、「都市再生整備計画（彦根駅周辺地区）」に基づき道路を含む公共施設の整備に努めたこと、「彦根市立地適正化計画」において都市機能誘導区域および居住誘導区域を設定し、都市機能の立地促進および誘導施設への税財政、金融上の支援に努めたこと、ならびに、市内全域において、分譲宅地開発および集合住宅建築が着実になされたことが定住人口増加の一因として推察される。
	最終実績値	6044人	

参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	32 風格と魅力ある都市を創造する彦根における子ども達の安全と安心のための通学路等の点検結果に基づくみちづくり		
計画の期間	平成30年～令和4年(5年間)	交付対象	彦根市

# 彦根市都市計画総括図



測量成果：平成22年3月時点  
都市計画：平成28年12月28日時点